

2025年度 展示予定

企画展示室

企画展

昭和のアキタ

— 百年の暮らしをつづる —

2025年は昭和がはじまって、ちょうど100年になる年です。昭和という時代は、戦争や高度経済成長などがあり、人々のくらしが大きく変化した時でもあります。100年前にタイムスリップして、身近に使われていた道具から、秋田のくらしの変化を見つめていきます。



4月26日(土)～6月15日(日)

特別展

ヨシタケシンスケ展 かもしれない



©Shinsuke Yoshitake

子どもから大人まで、大ブームを巻き起こしている絵本作家・ヨシタケシンスケの東北初開催となる大規模展覧会。絵本原画、本展のためにヨシタケさんが考案した立体物や愛蔵のコレクションなど約400点以上を展示し、作家の「頭のなか」をのぞいてみます。

7月12日(土)
～9月7日(日)

企画展

かく、えがく。

— 菅江真澄遺墨資料展 —



江戸時代後期、各地を旅した紀行家・菅江真澄は旅の記録を200冊以上残し、文章だけでなく図絵も描きました。真澄の記録を分類して、その一つ一つを紐解き、文章と図絵で何を記録したのかを詳しく紹介します。

9月27日(土)～11月16日(日)

企画展

秋田県博 50年のあゆみ

秋田県立博物館の開館50周年を記念して、これまでの歩みを振り返る企画展を開催します。秋田の歴史と文化を形作った人々の暮らしや、自然との関わりを、貴重な資料や展示品で紹介。未来へと繋がる博物館の姿をぜひご覧ください。

令和8年1月10日(土)～4月5日(日)

菅江真澄資料センター企画コーナー展

秋田の先覚記念室企画コーナー展

ふるさとまつり広場

- 子どもの成長を願う～端午の節句～
4月10日(木)～6月10日(火)
- 夏のまつり～七夕絵どうろう～
7月3日(木)～9月11日(木)
- 目潟巡る真澄—男鹿半島の三つの目潟—
7月5日(土)～8月24日(日)
- 秋田の酒と人
10月8日(水)～12月7日(日)
- 秋の夜長を楽しむ～明かりの道具～
10月9日(木)～11月11日(火)
- 真澄の歩いた道《ひなの遊び》・《氷魚の村君》
11月1日(土)～12月21日(日)
- 正月の来訪神～ナマハゲ～
12月4日(木)～令和8年2月3日(火)
- 春の訪れ～ひな人形・押絵～
2月26日(木)～4月7日(火)
- 真澄白語り
3月14日(土)～5月10日(日)